

「地道な営業活動によるファン作り」

花田一祥氏・花田佛具店(黒崎)

花田佛具店(黒崎)の 案でできたと思いますが、花田一祥(かずよし)さん 入店当初は精一杯でした。人は1984年生まれ。大学を卒業後に浜屋に入店する。

「大学在学中にはフラメンコギターのアンサンブルクラブに入っていました。卒業後の進路については色々と考えましたが、将来は家業を継ぐというので、浜屋(姫路)さんで修業することになりました」

4月末から浜屋はゴールデンウィーク佛壇佛具博が三宮のサンポーホールで開催され、スタッフの一員として右に左に動き回ることも経験。浜屋在社中で販売した最も高額な佛壇は佛具付きで二百万円の製品。いとこの方という感じのお客様でした。浜屋に居る時には、店頭での販売に加えて配達もあり、お寺回りもありと、色々な経験を積ませて頂きました」と花田さんは語る。

花田佛具店に戻って来て感じたのは、浜屋と自分の店とのギャップ。「浜屋は完成された体制を持っていますが、花田佛具店は個人のお店です。で、そこは違いますね。また、浜屋と北九州では佛具のお祀りの方法も異なることも改めて知りました」

現在力を入れているのが、お寺回りで、「色々なところに顔を出すようにしています」とのこと。地道なお寺回りにより花田さんのファンも確実に増えている。

花田佛具店(黒崎)はJR黒崎駅前広がる黒崎商店街熊手通りに立地するが、商店街全体にお客様が来て頂くようにすることが花田さんの目下の課題の一つだ。

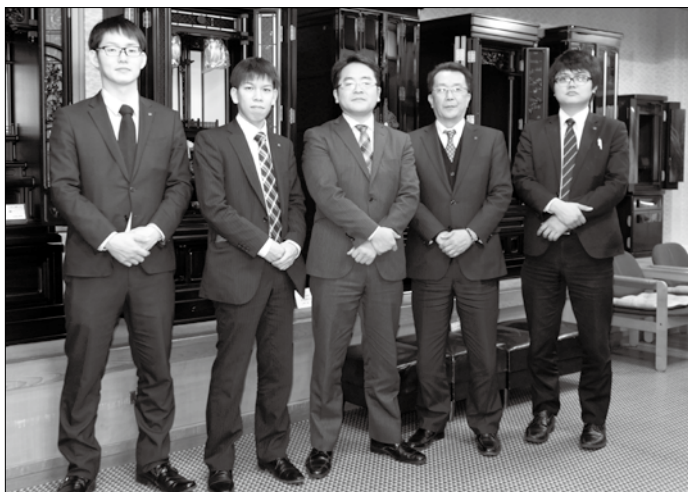
「佛壇の販売はやはり都市型佛壇が増加していますね。上置きとなると大半が都市型となりますので、商品構成もこれから考えて行かなくてはなりません」

変化する市場の中で、目前のこと、そして将来を見渡しながら、花田さんはこれからの花田佛具店を作り上げて行く。

◎花田佛具店 北九州市八幡西区熊手一丁目七
TEL〇九三(六二二)三三三三 FAX〇九三(六二二)六九〇八



花田一祥氏 これからの商品構成などを考える日々が続く



取材時には浜屋社員の方々の来訪も偶然あった(中央が花田氏)